

武蔵野文学館紀要第11号： 表紙,目次,編集後記,執筆者一覧,奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-05-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1567

武蔵野大学

武蔵野文学館紀要

第 11 号

【特集 映画と文学】

新・〈原作〉の記号学

— 伊藤俊也監督『風の又三郎 ガラスのマント』に触れて —

..... 中村 三春

小説と脚本 — 言語化と可視化 — 小谷 忠典

「映画と文学」とは何か — 蓮實重彦・中村三春・岩井俊二 — 土屋 忍

中村三春著『〈原作〉の記号学 — 日本文芸の映画的次元』の射程

— 『〈原作〉の記号学』を読む会の活動報告を踏まえて — 山路 敦史

【論文】

「私」の氾濫 — 坂口安吾「ふるさとに寄する讃歌」論 — 山路 敦史

2020

武蔵野文学館紀要 第11号 目次

【特集 映画と文学】

新・〈原作〉の記号学

——伊藤俊也監督『風の又三郎 ガラスのマント』に触れて——

中村 三春 3

小説と脚本——言語化と可視化——……………小谷 忠典 31

「映画と文学」とは何か——蓮實重彦・中村三春・岩井俊二——
……………土屋 忍 49

中村三春著『〈原作〉の記号学——日本文芸の映画的次元』の射程

——『〈原作〉の記号学』を読む会の活動報告を踏まえて——

……………山路 敦史 61

【論文】

「私」の氾濫

——坂口安吾「ふるさとに寄する讃歌」論——……………山路 敦史 69

……………編集後記……………89

編集後記

『武蔵野文学館紀要』第一一号は、北海道大学大学院文学研究院（文学院・文学部）教授の中村三春氏の講演会「新・〈原作〉の記号学 伊藤俊也監督『風の又三郎』— ガラスのマント』に触れて」の開催（二〇二〇年七月二六日（日）、Zoomによるリモート開催）を契機とした、「映画と文学」の特集を組んで刊行する。

巻頭論文として、中村氏にお寄せいただいた講演内容を基にした新稿を掲載することができた。中村氏は、既に『〈原作〉の記号学— 日本文芸の映画的次元』（二〇一八年、七月社）を刊行されており、今回お寄せいただいた「新・〈原作〉の記号学」は、中村氏の新たな研究の展開を感じ取れる論考である。中村氏の一読者として、いち早く「新・〈原作〉の記号学」を目の当たりにできることを喜ぶたい。本学客員教授で映画監督の小谷忠典氏には、小説が脚本化される流れを追体験できる魅力的な方法で「映画と文学」という問題系に「映画人」

の立場からアプローチされた論考をお寄せいただいた。また、中村氏の『〈原作〉の記号学』および「新・〈原作〉の記号学」に触発されたエッセイと勉強会の報告を特集として掲載する。

本来であれば、慣れ親しんできた文学作品とその映画化作品とに目配りし、映画と文学との相関性を考究する研究論文も掲載したいところだったが、編者の力不足により今後の課題とせざるを得ない。ご協力いただいたすべての方々に感謝とお詫びを申し上げるとともに、「映画と文学」へのアプローチを狭義の「研究論文」という形式に限定しないユニークな号として受け取っていただければ幸いである。

(Y)

執筆者一覧（掲載順）

中村三春（北海道大学大学院教授・武蔵野大学客員教授）

小谷忠典（映画監督・武蔵野大学客員教授）

土屋忍（武蔵野大学教授・武蔵野文学館館長）

山路敦史（武蔵野大学助教・武蔵野文学館研究員）

武蔵野大学

武蔵野文学館紀要 第11号

二〇二一年三月三十一日発行

編集・発行 武蔵野大学 武蔵野文学館

〒202-8585

東京都西東京市新町一―一―二〇

印刷所 株式会社 文伸

Musashino Bungakukan Kiyô

Journal of the Musashino Literature Museum

Musashino University

Tokyo, Japan

Number XI

FEATURED PAPERS

Film and Literature

New Semiotics of the Original: Shunya Ito's film *Misty Kid of Wind* Miharû Nakamura

Novels and Screenplays: Verbalization and Visualization Kotani Tadasuke

What is the "Film and Literature"?: Shigehiko Hasumi, Miharû Nakamura, Shunji Iwai
..... Shinobu Tsuchiya

The Range of Miharû Nakamura's Semiotics of the Original: A Filmic Dimension of Japanese
Literature: Based on the Activity Report of Semiotics of the Original Reading Group
..... Atsushi Yamaji

THESIS

Flooding of "I": Sakaguchi Ango's *Furusato ni yosuru Sanka* Atsushi Yamaji